

今回は、10月19日に本校創立90周年式典を迎えるにあたり、少しだけ本校の歴史を振り返ってみたいと思います。昭和の初め頃には、金沢市内には3つの中学校しかなく、進学希望者は多く、受験倍率は2倍を超え、多くの少年たちが希望を叶えることができませんでした。この状況を憂え、創立者である河合常治先生が昭和3年に「金沢中学校」を設立したのです。

戦後、学制改革により、昭和23年に現在の校名「金沢高等学校」としてスタートします。当初は男子校で、昭和33年に共学となります。生活と進路両面における丁寧で、諦めない、徹底した指導が実を結び、平成に入ってから、大学進学者数や国公立大学合格者数は伸び続け、また部活動でも平成5年から8年にかけて高等学校総合体育大会総合4連覇を達成します。受験者数も右肩上がりに増加し、平成5年には、在校生が2,000名を超える超マンモス校になっていきます。

これまで、多くの先生方や卒業生たちが刻んでくれた努力があって、また、同窓会の皆様はじめ、関係各位の皆様のご厚情があって、今私たちは本校で勤務し、また学ぶことができるのだと思います。そのことを深く胸に刻んで、教師と生徒が共に協働して、今後の新しい学校の歴史を紡いでいきましょう。（校長：杉浦外美夫）

## 【第90回文化祭】 ～ 祭りのない人生なんて ～



今年の文化祭は、「生徒会を探せ」のように新しい企画がたくさんありました。生徒会の一人一人が責任を持って行動してくれたからこそ、生徒が楽しめていたのだと思いました。

午前中のステージでの2年生のダンスの時には、MCが司会をしてくれて笑いをとってくれました。

先生方や生徒一人一人の協力により、最高の文化祭にすることができたと思います。文化祭に参加して下さった皆さん、ありがとうございました。

文化祭実行委員長 勝田聖維

## 【本校生徒4名が災害ボランティアに参加】

7月に西日本を襲った豪雨災害の復旧ボランティア活動に、久保俊輔君（2年2組）、高田祥汰君（2年3組）、横山倫法君（2年3組）、田中拓範君（2年9組）の4名が参加しました。彼らに参加した感想を聞きました。

8月11日の朝9時30分から15時まで倉敷市で復旧作業を手伝いました。最初に5人1班に振り分けられ、3班1グループで一軒の家を担当しました。家の周りは瓦礫や木材や泥などが2メートルほど積み上がっていて、その撤去やトラックでの運搬を手伝いました。一日かかっても一軒の家すら終わることができませんでした。思ったより作業が進まず、復旧には時間がかかると感じました。

想像したより多くの方がボランティアに来ていたけど、もっと多くの方が参加すればよいと思いました。被害に遭われた人が、大切にしていた物がゴミとして運ばれていくのを複雑な気持ちで見ていたのが心に残りました。実際に現地に行くと、テレビでは分からない災害の大きさや復旧の大変さが実感できました。また機会があれば参加したいと思います。

### 【新人大会（前期）の結果】

**水泳部** 男子 ○50mバタフライ優勝 池田 裕  
○100mバタフライ優勝 池田 裕  
女子 ○400m自由形優勝 村上真穂  
○100m背泳ぎ優勝、200m個人メドレー優勝 安井桃香

**陸上競技部** 男子走高跳 優勝 山田いづる

**男子テニス部** 団体優勝

**女子テニス部** 団体優勝

個人シングルス優勝 久保友莉佳

個人ダブルス優勝 久保友莉佳 関野未知留